

雪降って、冬を体感

～でも、大岳沢で春はの訪れを感じる!?!～



雪の中の観察会。



草むらの中に何か発見。



生き物を探して草むらへ。

1/14、東京都心部は大雪となり、交通網がマヒする事態となりました。この日たまたま切欠で子どもたちと野鳥観察をしていたのですが、都心部ほどの積雪はなかったものの、みぞれが激しく降り続き、凍える寒さの中での観察会となりました。この日降った雪は翌日にも残り、冷え込みが強かったせいか所々で道がガチガチに凍っていました。

積雪は、奥山にも白銀の世界をもたらしており、遠くに見える山並みは真っ白でした。積雪直後の雪景色を撮影に行くことができず、結局大岳沢へ撮影に向かったのは1/25。積雪から10日ぐらい経ち、その間、気温が高い日が続いたためか、沢の水はほとんど解けてしまっている状況。ときおり尾根から沢へと暖かい風が強く吹いたりし、少し春の兆しを感じました。わずかに残った氷を撮影し、帰路についたのですが、自然の観察や調査にはタイミングが重要だということを再度痛感しました。(登山道にはまだ雪が残っています。奥山に向かう際には装備等をしっかり準備してお出かけください。)



沢にわずかに残った氷。これを見た篠木校長がつぶやきました。
「谷底の
つららとけだし
水遊ぶ」



日差しを浴びてとけていくつらら。
春はもうすぐでしょうか？



水しぶきがかかる岩場に氷の造形を期待していたのですが…



子どもたちの写真と大岳沢の
写真は篠木校長が撮影しました。



秋川水鳥観察日記（冬）

～今年度はカモの種類が少ない気がします～



今年度のマガモの飛来数は
例年より少ない気がします。
(左：メス、右：オス)



年中観察することが出来るカルガモ。ヒナを連れ歩く姿が有名。



額の白が目立つオオバン。
潜って水草などを食べます。



五日市の辺りからちらほら観察
することができるカワガラス。

毎年冬になると秋川下流（特に多摩川との合流域）にいろいろな冬鳥が訪れます。その中でもやはりこの時期は、冷たい川の水をものともしない水鳥の仲間に目が行きます。カモの仲間は優雅に水面を泳ぎ、真っ黒なオオバンは時々潜水しながらエサを探します。また、秋川上流では流れに逆らいながら石と石の間のエサを探すカワガラスの姿を観察することが出来ます。この時期、人が川に入ったら凍

えてしまいますよね。

実は潜ったり泳いだりする水鳥の羽毛は、水を弾く仕組みになっています。これは、羽づくろいの際に尾羽の付け根の近くにある皮脂腺の油を丁寧に羽毛に塗っているため羽毛が水を弾くのです。もし、羽毛の皮脂が足りないと、羽毛が水を吸ってしまい、肌からどんどん体温が奪われることになります。

とは言っても、あまりにも寒い日には水から出てますけどね。



あきる野のクマの将来は、



昨年秋から、市内西部でツキノワグマの出没が続いていました。目撃情報のほとんどは、2頭の小熊を連れた母熊の3頭のグループで、同一の個体が繰り返し出沒していたと思われます。ー昨年、山のドングリ（コナラ）が豊作だったため、昨年は裏年ということで不作となり、山に餌が少なく、クマの親子が人里に下りてきたと考えています。猟友会の協力のもと、猟犬を使って山への追い返しを続けたのですが、人家周辺での目撃が頻発するようになりました。幸いにも人を直接襲うことはなかったのですが、住民の安全を第一に考え、子熊1頭を捕殺する結果となりました。



植栽

大きく育つように丁寧に植えます

穴掘り

コレンジャーは穴掘り作業が大好きです



1月のコレンジャーの活動でも、このクマの報告がされ、クマが餌不足になって山を下りてこないように山に餌となる樹木を植える方向で話が進みました。

1月13日に子どもたちが2mの苗木（ヤマグリ）、トウグワ、スコップなどを交代でかついで馬頭刈尾根を越えた山の奥まで登り植えてきました。子どもたちの中から、「自分たちがクリを植えることはクマの将来がかかっている。」との意見がでました。この一言で、山への植栽の目的がコレンジャー全員に共有され、協力し合って活動することができました。

この間、大人たちは、手を貸すことなく、自分たちで苗木、道具を山に運び上げて、登山道から離れて、人に接触する危険が少ない所まで入りました。植栽地の整備をしてから穴を掘り、シカ除けの段ボールを幹に巻きつけてこの日の植樹を終えて山を下りました。大きな目的を達成してヘルメットを被り肩にクワを担いで山を下りるコレンジャーたちの後ろ姿は、白雪姫の7人の小人のような小さくても、頼もしい存在に見えました。



2mの苗木を運ぶ

みんなで交代しながら運びました

奥山へ向かう

急斜面のやぶに分け入ります



その後のはなし

植えられた苗木は、高さ2.1m、株元径2.5cmのヤマグリで、早ければ今年の秋には2〜3個ぐらいの実をつけることが予想されます。

植栽後、降雪の後に様子を見に行きました。しっかりと植え込まれているので、根元から倒れることもなく無事でした。

溶けかけた雪にクマらしき足跡があり、クマも自分のクリと認識しているのか？植栽されたクリのわきを通り過ぎていったようです。



シカよけ

樹皮が食べられないように！

山を下る

道具をかついで並んで下山します

